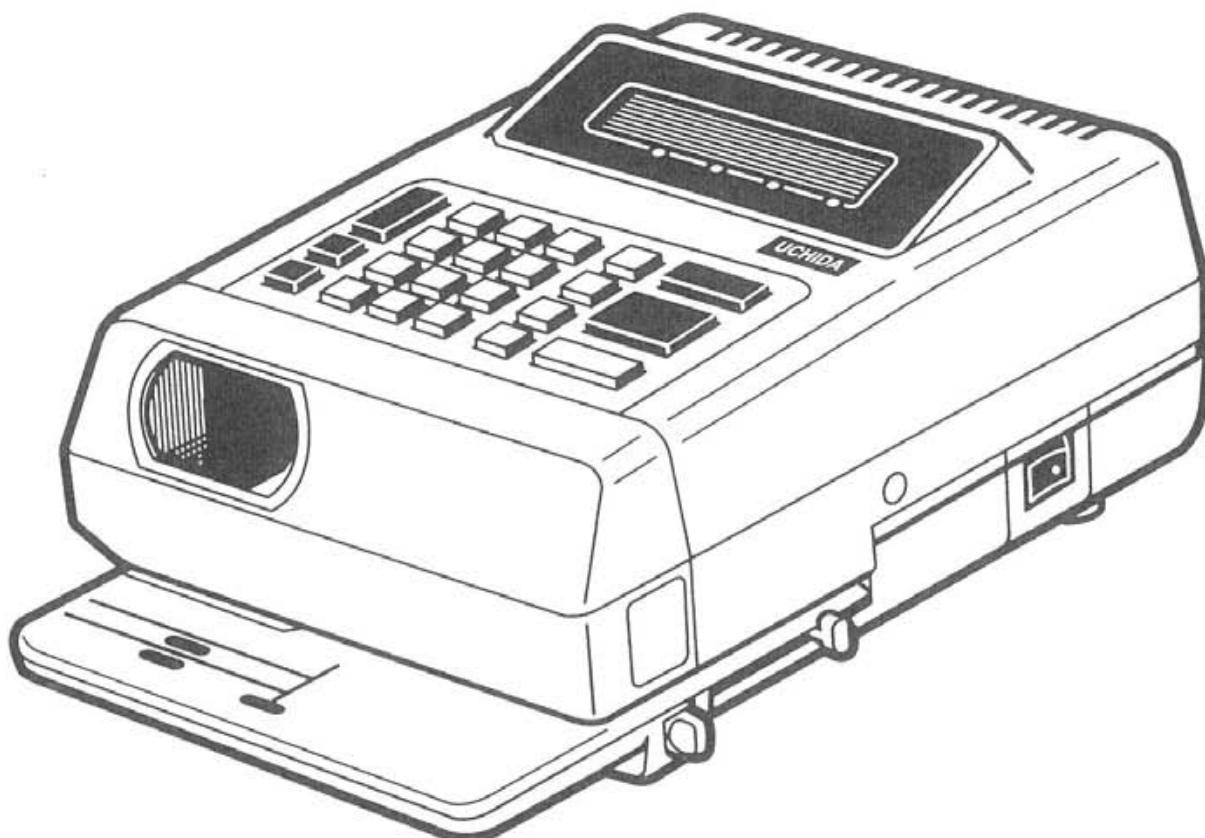
UCHIDA

T737-03005A

ELECTRONIC CHECK WRITER

電子チェックライタ

EG-1000

取扱説明書

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。

●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。

●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

株式会社 内田洋行

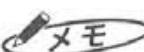
このたびは、ウチダ電子チェックライタをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示にある指示に従わずに取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定されたり、物的障害の発生が予想される内容を示しています。

 本機が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

■絵表示について

 記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警告

- 本機は絶対に分解または改造しないでください。
  火災、感電、故障のおそれがあります。

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。
  故障や感電、けがのおそれがあります。
- 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。
  火災のおそれがあります。
- 電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。
  コードに傷が付いて、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電のおそれがあります。
- 本機の内部に指を入れないでください。
  けがのおそれがあります。
- 水、薬品などが本機にかからないようにしてください。
  故障や火災、感電のおそれがあります。
- フロントカバーを開けたままで本機を操作しないでください。
  けがのおそれがあります。

- 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。
  100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電のおそれがあります。

- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。
  そのまま使用すると故障や火災、感電のおそれがあります。
- 故障のまま本機を使わないでください。
  煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
  電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- **大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントを共用しないでください。**
  電圧が下がり、本機が誤動作する可能性があります。
- **紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。**
  火災や故障の原因になります。
- **インキリボンカセットを交換する際はプリンターヘッドにはさわらないでください。**
  高温になりますのでやけどの原因になります。

- **インキリボンカセットを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
- **長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **設置場所を移動させる時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
  無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- **電源プラグは定期的に清掃してください。**
  長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**
  コードが破損して火災や感電の原因になります。
- **本機は必ず水平に設置してください。**
  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

ご使用上の注意

お願い

本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。

1. 直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所
2. ほこりや湿度の高い所
3. 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4. 温度が5℃以下、40℃以上になる場所

●手形・小切手・領収書（3枚複写まで）以上の厚紙（ダンボール等）には印字しないでください。紙づまりをおこすばかりか、故障の原因になります。

●印字中は用紙（証券）を無理に引き抜かないでください。

●印字中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「ＯＦＦ」にしないでください。故障の原因になります。

●空印字をすると耐久性が落ちるばかりでなく、用紙（証券）の裏をよごす原因になりますのでさけてください。

●インキリボンカセットをはずした状態で印字をしないでください。故障の原因になります。

●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤や薬品を使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

●インキリボンカセットは専用インキリボンカセット（ＥＧ−1000）をご使用ください。市販のインク、アルコール、油等は絶対に補給しないでください。故障の原因になります。

●切り替えノブが「A」手形位置のままで、「B」領収書（複写用紙など厚紙）を発行するのはやめてください。故障の原因になります。

目次

1 ＥＧ－1000の特徴

①〔印字方式〕
インパクトドット印字方式を採用し従来方式に比べ、より鮮明な印字が可能になりました。

②〔冊子印字〕
手形・小切手など冊子のままでの印字が可能です。

③〔簡単な位置合わせ〕
印字位置合わせは、窓から印字スタート位置に合わせるので簡単です。

④〔控え印字〕
手形・小切手と同じ発行金額を控え印字欄に合わせて、小さいサイズで印字することが可能です。（冊子のままでは、小切手の控え印字は打てません。）

⑤〔日付印字〕
手形の振出日などの年月日に合わせた日付を印字できます。
（小切手などの一部と用紙のサイズによっては印字できない場合があります）

⑥〔複写印字〕
領収書など、複写印字（3枚まで）は、切り替えノブの位置を変更すると印字が可能です。

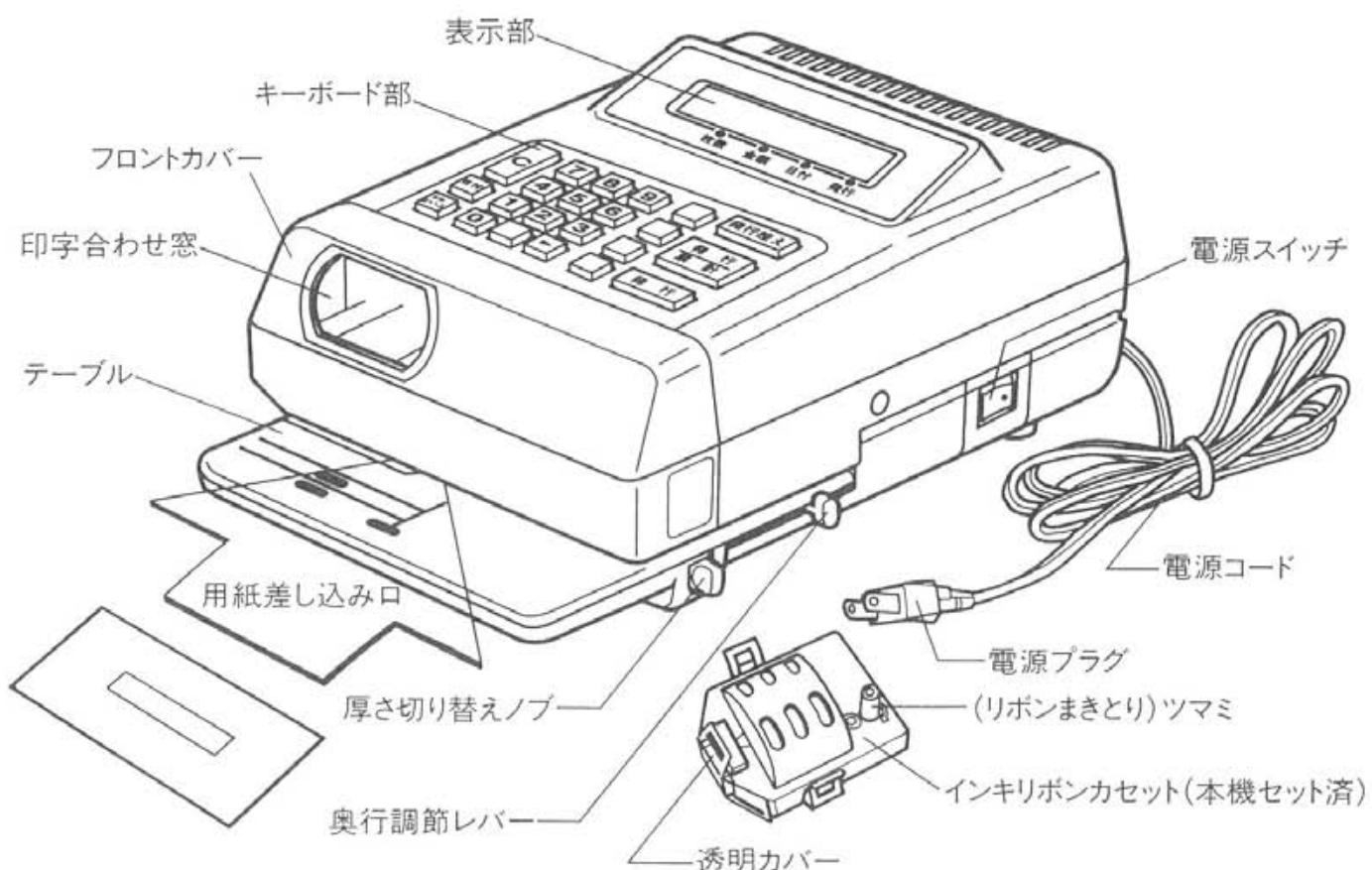
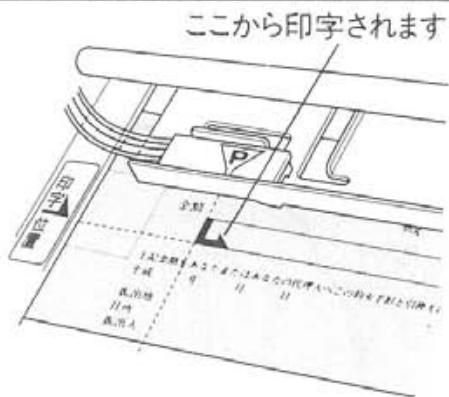
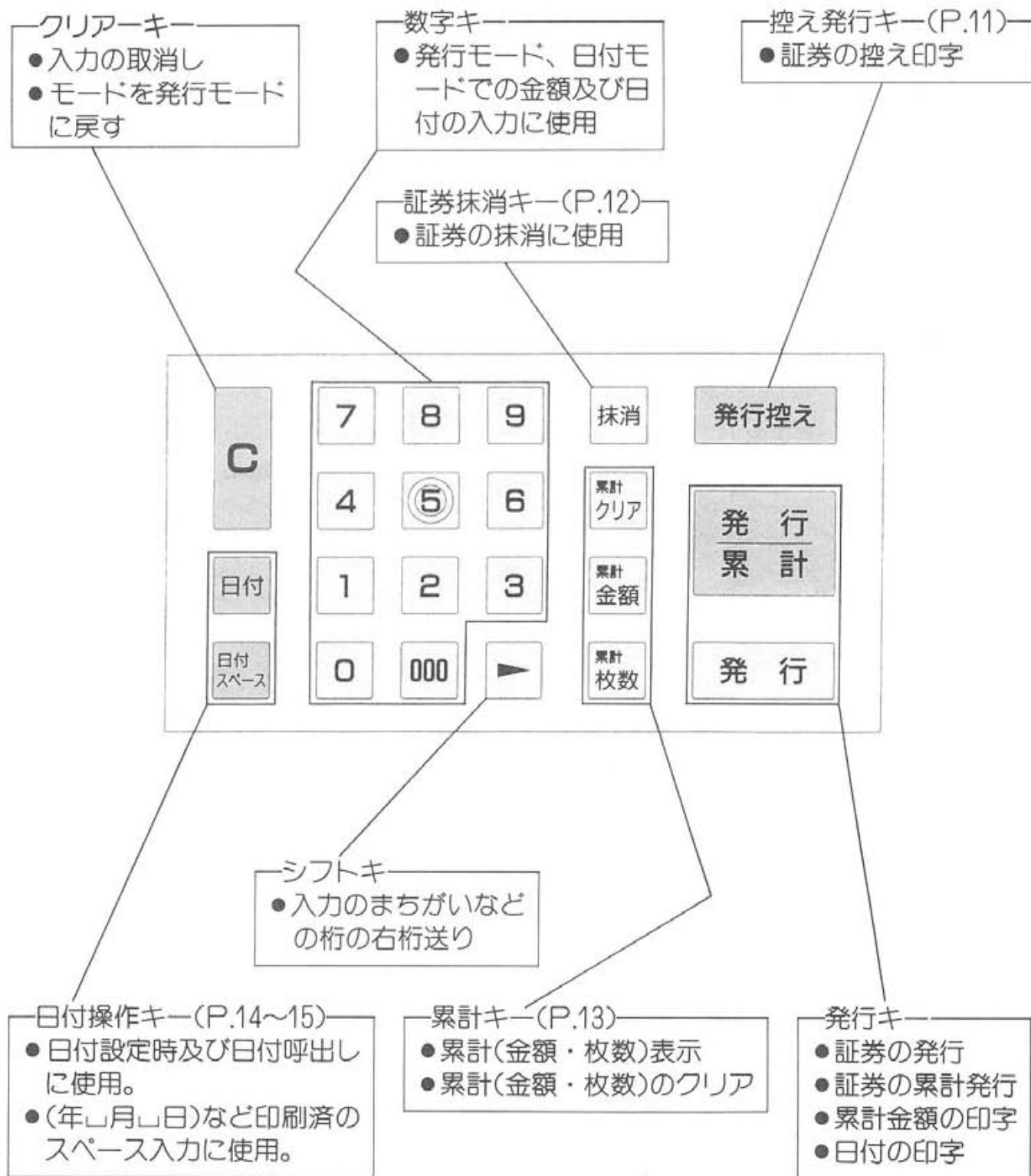
⑦〔累計機能〕
発行した金額、枚数を累計し、画面表示で確認することができます。

2 付属品をおたしかめください

- インキリボンカセット（1巻・本機セット済）
- 取扱説明書（本書）
- ダストカバー（1枚）
- お試し用紙（2枚）
- 販売店シール（1枚）
- 印字位置シール
- お客様登録カード（保証書）（必要事項の記入もれがないか、ご確認ください。）

3 各部の名称（外観）

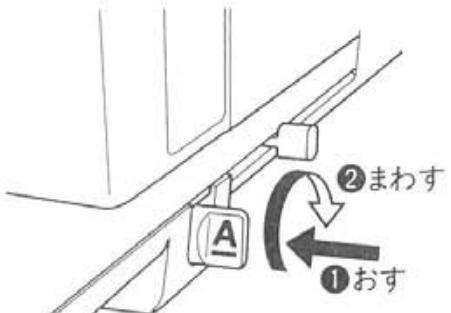
①外観

ここから印字されます

4 各機能の説明（キーボード部）

5 手形・小切手の発行〔発行モード〕

⇨ まず電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを入れます。

〔例：6万8千円の小切手を発行します。〕

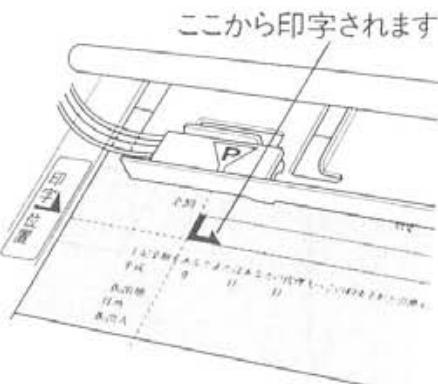
① [6] [8] [000] と押して、表示部を確認して下さい。

②証券の厚さ、切り替えノブを「A」（小切手・手形）の位置に合わせます。

③手形・小切手（用紙）をテーブルにのせ、奥に差し込みます。
次に奥行き調節レバーを調節した後、小切手の金額欄を印字開始マーク （左合わせ）に合わせてください。

④ [発行] を押すと印字されます。

殿

金額 ¥68,000※

上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引替えにお支払いいたします
昭和　年　月　日

●表示部に「PAPER」と表示された時は、もう一度、用紙を入れ直し、PAPER表示が消えたことを確認した後、[発行] を押してください。

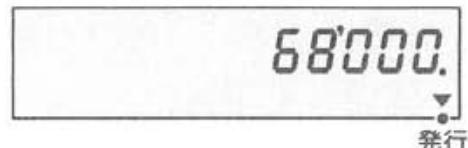
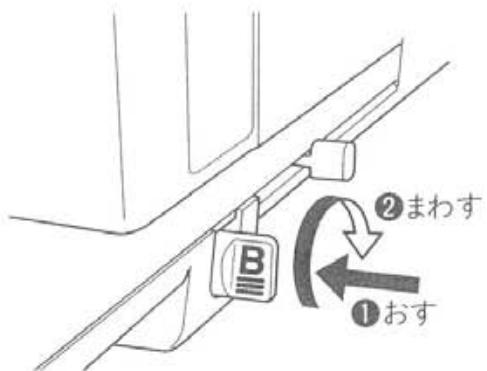
●発行した金額と枚数を累計する場合、[発行] の替わりに [発行/累計] を押してください。

●用紙の左端からの印字不可能な範囲は約1㎝です。

●入力金額はクリア（[C] キー）を押さないかぎり、表示した金額を何回でも印字できます。 ⇨ リピート印字

6 複写（領収書）〔発行モード〕

⇨ まず電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを入れます。
〔例：6万8千円の複写（領収書）を発行します。〕

① [6] [8] [000] と押して、表示部を確認して下さい。

②証券の厚さ、切り替えノブを「B」（複写）の位置に合わせます。

③複写（領収書）用紙をテーブルにのせ、奥に差し込みます。
次に奥行き調節レバーを調節した後、複写（領収書）用紙の金額欄を印字開始マーク P（左合わせ）に合わせてください。

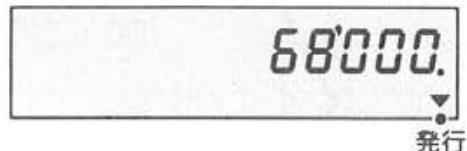
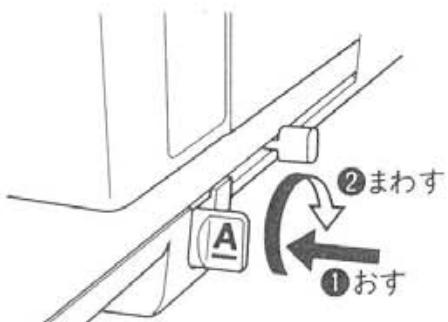
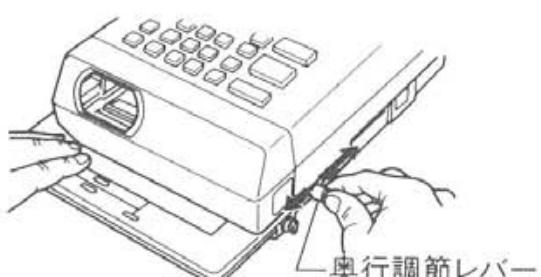
④ [発行] を押すと印字されます。

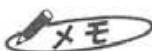
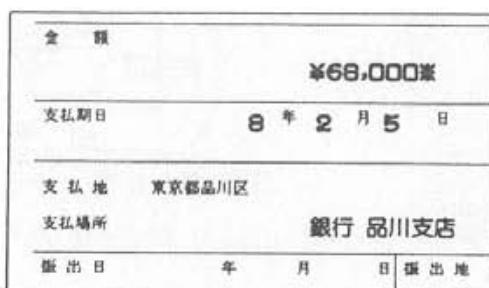
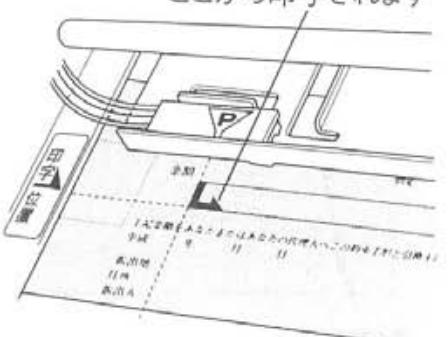
お願い

●切り替えノブが「A」手形位置のままで、「B」領収書（複写用紙など厚紙）を発行するのはやめてください。故障の原因になります。

7 控え印字〔発行モード〕

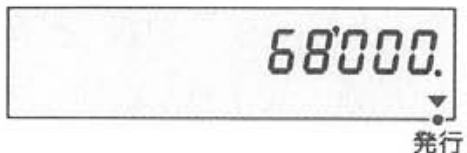
⇨ まず電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを入れます。
〔例：6万8千円の小切手を発行（控え印字）します。〕

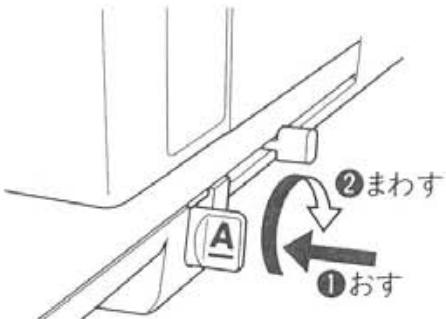
① 6 8 000 と押して、表示部を確認して下さい。

②証券の厚さ、切り替えノブを「A」（小切手・手形）の位置に合わせます。

③手形・小切手（用紙）をテーブルにのせ、奥に差し込みます。
次に奥行き調節レバーを調節した後、小切手の控え印字金額欄を印字開始マーク P（左合わせ）に合わせてください。

④ 発行控え を押すと印字されます。
（冊子のままでは、小切手の控え印字は打てません。）

金　額				
	¥68,000※			
支払期日	8 年 2 月 5 日			
支 払 地	東京都品川区			
支払場所	銀行 品川支店			
振 出 日	年	月	日	振 出 地

●手形の金額欄に 発行 で印字を行なった直後に、用紙の金額控え欄に位置合わせを行ない 発行控え を押すと、表示金額を印字することができます。

8 抹消印字〔発行モード〕

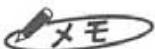
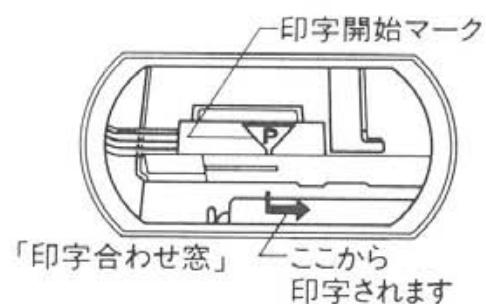
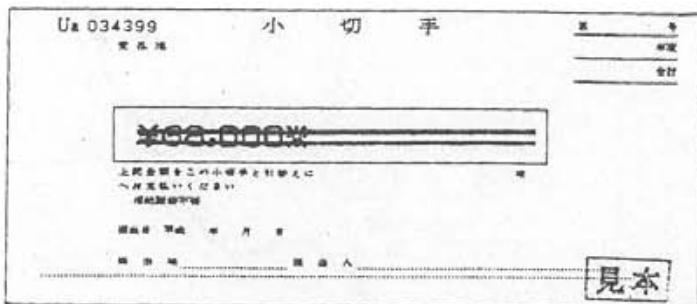
⇨ まず電源プラグをコンセントに差し込み電源スイッチを入れます。
〔例：6万8千円の小切手を発行（抹消印字）します。〕

① 6 　8 　000 と押して、表示部を確認して下さい。

②証券の厚さ、切り替えノブを「A」（小切手・手形）の位置に合わせます。

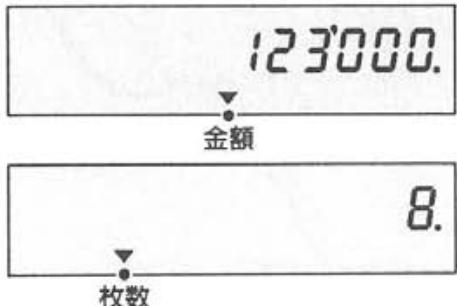
❷まわす
❶おす

③抹消印字させたい手形・小切手(用紙)をテーブルにのせ、奥に差し込みます。次に奥行き調節レバーを調節した後、小切手の金額欄を印字開始マーク P (左合わせ)に合わせてください。

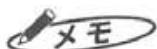
奥行調節レバー

④ 抹消 を押すと2重線で印字されます。

メモ

● 発行/累計 の直後に抹消を押すと、表示している金額を累計から減算し、発行枚数も1枚減算されます。

9 累計呼び出し(金額・枚数モード)

①［累計金額］及び［累計枚数］を押すと、［発行/累計］を押して印字された累計金額及び累計枚数を呼び出す事ができます。

①累計金額、枚数をクリアする場合
累計クリアキーを押すと累計内容はクリアされます。

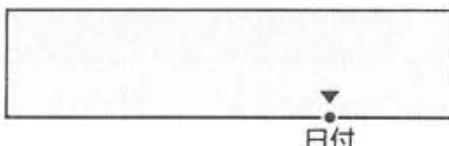
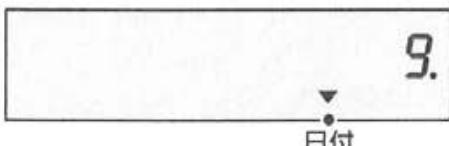
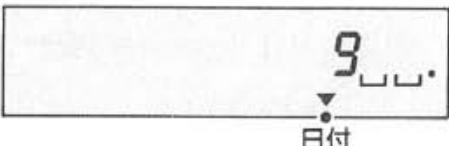
メモ

●累計及び枚数は電源をOFFにすると消去されます。

●累計金額は最大15桁まで累計しますがオーバーした場合は累計が0になります。

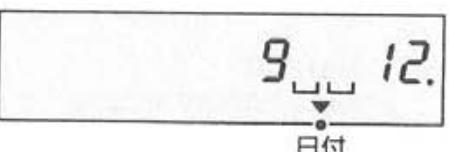
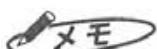
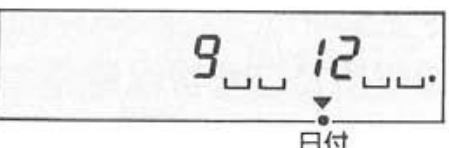
10 日付印字〔日付モード〕

（小切手などの一部と用紙のサイズによっては印字できない場合があります）

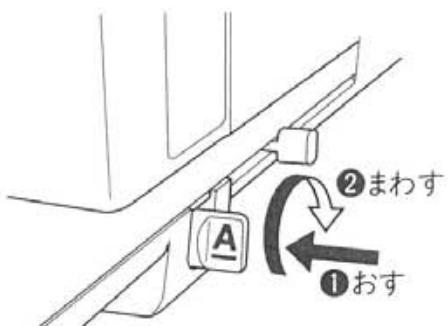
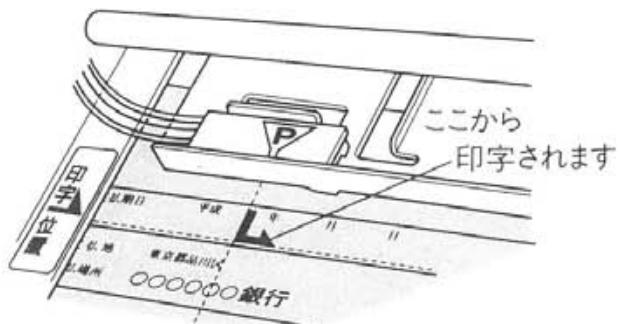
※振り出し日などの日付を印字する事ができます。
〔例：手形の〔平成　年　月　日〕と印刷してある所に
〔9△△12△△25〕と印字する場合〕

① 日付 を押します。

② 9 を押します。

③ 日付スペース を2回押します。

④ 1　2 と押します。

⑤ 日付スペース を2回押します。

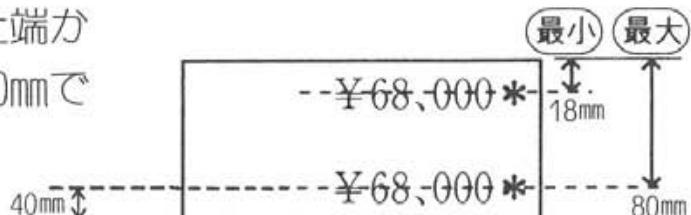
メモ

●銀行の小切手、手形によって印字スペースが異なる場合があります。
日付スペース を追加したり減らしたりして調整してください。

⑥[2] [5]と押します。

⑦証券の厚さ切り替えノブを「A」小切手・手形の位置に合わせます。

⑧用紙をテーブルにのせ、9を印字したい(左合わせ)に合わせ、奥行き調整レバーを調節し、[発行]を押すと印字されます。

メモ

●日付の入力を間違えた場合や、日付を修正する時は[▶]キーを使用してください。

●一度入力した日付は電源を切るまで記憶しています。再度使用する場合は[日付]を押せば呼び出せます。

●金額印字の可能奥行は、用紙の上端から文字中心まで最小18㎜・最大80㎜です。

インキリボンカセットの交換方法と印字位置シール

⚠ 注意

●**インキリボンカセットを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

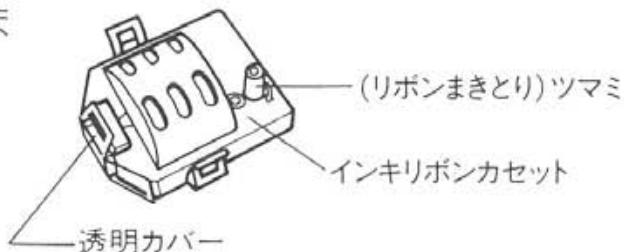
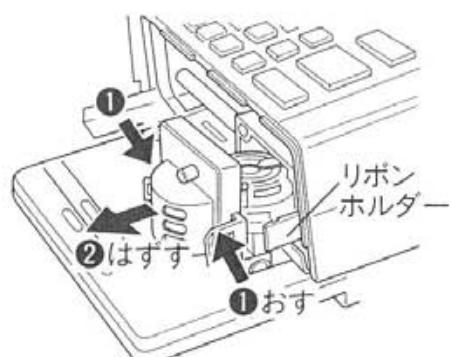
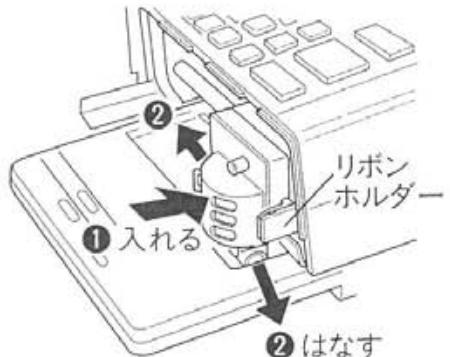
●**インキリボンカセットを交換する際は、プリンターヘッドには、さわらないでください。**

高温になりますので、やけどの原因になります。

お願い

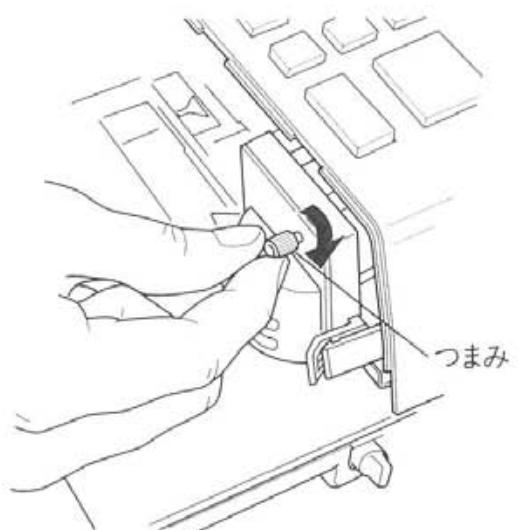
●印字がうすくなりましたら下記の要領でインキリボンカセットを交換してください。交換後はおためし用紙で試し印字してください。

●リボン下部の透明カバーは外さないでご使用ください。

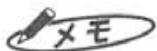
①フロントカバーを手前に引きはずします。

②セットされているインキリボンカセットを❶指で矢印部を押しながら❷手前に引きます。

③新しいインキリボンカセットをリボンホルダーにツメの両側がパチンと音がするまで差し込み、つまみを右に1～2回転まわしリボンのたるみを取ります。

④フロントカバーを再び取りつけた上、ご使用ください。

■ウチダ・チェックライタ用インキリボンカセットEG—1000（¥2,500）をお買い求めのうえご使用ください。

お願い

●インクリボンは交換式です。
市販のインク、アルコール、油等は絶対に補給しないでください。故障の原因になります。

■印字位置シールのご利用方法

●手形・小切手・領収書などの位置合わせ、奥行調整の目安として図のようにテーブル、ケースに貼ってご使用ください。

12 トラブルとその処置

メモ　ご使用中トラブルが発生した場合には、下表を参照して本機を確認してください。

症　　状	処　　置
表示画面に“Error(エラー)”と表示した場合。	電源スイッチを切り、詰まった紙を取り除き、再び電源を入れてください。
液晶表示管に“PAPER(ペーパー)”と表示され印字できない場合。	用紙を再び奥まで入れ直しPAPER表示が消えたのを確認した後、[発行]キーを押してください。
液晶表示管に“←”マークを表示した場合。	累計金額がオーバーしています。オーバーした桁は、累計金額の呼び出し([▶]キーを押すと3桁分金額が右に移動します）で確認する事ができます。

お願い　エラー及びペーパー表示が消えないときは、最寄りの当社営業所までご連絡下さい。

13 商品仕様

項目	仕様
商品名	ウチダ電子チェックライタ　EG−1000
入力桁数	最大12桁（¥、，、※は除く）
印字方式	インパクトドット印字方式
印字スピード	2秒以内
インキング	インキリボンカセット方式 （専用インキリボンカセットＥＧ−1000）※1
印字内容	リピート印字、控え印字、抹消印字、日付印字※2
印字奥行	80㎜（用紙上端より文字中心まで）／最小18㎜
外形寸法	（幅）200㎜×（高さ）123㎜×（奥行）312㎜（突起部除く）
重量	3.4㎏
消費電力	常時８W、印字時70W
電源	ＡＣ100Ｖ、50/60Hz
使用温度	温度５℃〜40℃
累計機能	発行金額累計、発行枚数累計（電源スイッチON時のみ）

※1 インキリボンカセットは1000シート（印字後）で交換してください。
※2 小切手などの一部と用紙のサイズによっては印字できない場合があります。

14 保証書とアフターサービス

■保証書について

●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間後の修理はお買い求めの販売店、当社営業所にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
保証書はお買いあげの販売店で所定の事項を記入の上お受け取りになり、大切に保管してください。

●お客様登録カード：お買いあげ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録され、同時に保証書も有効になります。

■アフターサービスについて

●お買求めの販売店、または当社営業所にご相談ください。

■お問い合わせ先

株式会社 内田洋行 お客様相談センター

0120-077-266　〒104 中央区新川2-4-7